

2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー
(第1講～第7講)

主 催：一般社団法人 地域包括ケア病棟協会
開講期間：2023年9月～2024年3月



2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー (第1講～第7講)

～最先端のmultimorbidity(マルモ)診療医を養成～

地域包括ケア病棟協会 会長 仲井培雄

地域包括ケア時代の患者像は、高齢複数疾患を有し、ADL、栄養状態、認知機能が低下し、ポリファーマシーになりやすく、入院前から生活支援や意思決定支援を必要とします。また、QOL、QODの価値観は人それぞれ異なる上、介入のエビデンスは乏しいためACPや多職種協働によるカンファレンスは必須となります。このような患者にとって、「急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受け入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える」地域包括ケア病棟はなくてはならない存在です。

本病棟においては、入院当初から疾患に対する治療と共に、リハビリテーション、栄養・摂食嚥下サポート(NST・SST)、認知症ケア、ポリファーマシー対策、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)等を多職種協働で包括的に提供し、入退院支援を行うことが重要です。特にリハビリテーションは、脳卒中モデルよりも認知症・フレイルモデルが主軸になるため、疾患別・がん患者リハビリテーションに加えて、当協会が提唱する補完代替リハビリテーション(POCリハビリテーション、集団リハビリテーション、院内デイケア、自主トレや運動療法の指導等)の活用が求められます。

一方、1980年代頃から「複数の慢性疾患をもつこと」は「multimorbidity(多疾患併存)」と呼ばれ、地域包括ケア病棟において求められる医療を研究する上で大きなテーマとなっています。プライマリケア領域における2014年のシステマティックレビューでは、multimorbidityパターンを分析した14文献の検討から、上位20位のリストが提示され、定義に含めるべき慢性併存疾患の参考となっています。上位5位までの慢性併存疾患は、COPD、糖尿病、高血圧、悪性疾患、脳血管障害であり、ごく普通にみられる疾患群です。高齢化と共に multimorbidity 患者は増加し、性別、生活困窮、精神疾患との相関が示されています。また、死亡率上昇やQOL低下、受診回数増加、ケアの分断、ポリファーマシー、救急受診、予定外入院、医療費上昇等が指摘されています。

この様に地域包括ケア時代の患者像とmultimorbidityの患者像はよく重なります。そこで地域包括ケア病棟協会では、地域包括ケア病棟を届け出る病院を「総合診療や老年医学のマインドを持つ医師と共に急性期後や在宅療養中の高齢虚弱 multimorbidity患者を病棟で受け入れる、在宅で診る診療拠点」と位置付けています。地域の医療・介護・福祉資源を把握し、多職種と協働して、患者の個別性に応じて受け入れた患者の在宅復帰支援を院内・地域内で実践することを期待されています。そのためには、地域包括ケア病棟に従事する医師の養成が不可欠であると考え、本アカデミーを開校致します。

2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー カリキュラム

実施日程	分野	総合司会	プログラム	講義内容
9/9 (土)	第1講 Per FM マルチモビ ディティ	石川賀代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～11:10 開講式、オリエンテーション ・ 11:10～12:10 (60分) 地域包括ケアシステムを支えるPerson Flow Managementと地域包括ケア病棟 地域包括ケア病棟における医師のコンピテンシー 地域包括ケア病棟協会 会長 仲井培雄 ・ 13:00～14:10 (70分) 地ケアのマルチモビディティを踏まえた診療のコツ 南砺市民病院 内科副部長 大浦 誠 ・ 14:20～16:30 (130分) グループディスカッション：地域包括ケア病棟認定医活躍のフィールドはどこにある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟の役割と機能を確認し、日本の高齢者が直面しているMultimorbidity (多疾患併存) についてのエビデンスを学び、どのような介入を行いどのようなアウトカムを目指せば良いかを考えて、実践できる事を目指します。
10/7 (土)	第2講 認知症 ポリファーマシー・ポ リドクター 対策	富家隆樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地域包括ケア病棟における認知症とせん妄の治療 医療法人大誠会 内田病院 理事長 田中志子 ・ 13:00～14:10 (70分) 地ケアのポリファーマシー・ポリドクター対策 北海道家庭医療学センター 理事長 草場鉄周 ・ 14:20～16:30 (130分) ケースディスカッション：ポリファーマシー・ポリドクター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟の入院患者にとって、ポリファーマシーとMultimorbidityは強く関連しています。 ・ なかでも認知症とせん妄は、薬が効果を発揮することも、ポリファーマシーになることもあります。 ・ 高齢者のポリファーマシー対策を学び、具体的な取り組みを知り、自院で取り組むきっかけをつくれます。
11/11 (土)	第3講 リハビリ テーション・栄養・ 口腔ケア	加藤章信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地域包括ケア病棟における誤嚥性肺炎の治療と再発予防 医療法人社団富家会 富家病院 摂食嚥下サポートチーム チームリーダー 医師 金沢英哲 ・ 13:00～14:10 (70分) 地ケアのリハビリテーション・栄養・口腔ケアの提供 東京女子医科大学病院 リハビリテーション科教授/診療部長 若林秀隆 ・ 14:20～16:30 (130分) ケースディスカッション：リハビリテーション・栄養・口腔ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟におけるNSTやリハ栄養、SST について基礎と実践を学びます。 ・ SSTが介入しても誤嚥が改善しない食べる意欲が強い患者に嚥下手術という選択肢がある事を理解します。
12/23 (土)	第4講 終末期医療 ACP	石川賀代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地域包括ケア病棟における終末期医療 社会医療法人石川記念会 H I T O病院 理事長 石川賀代 ・ 13:00～14:10 (70分) 地ケアの終末期医療や死についてのコミュニケーション 社会医療法人石川記念会 H I T O病院 緩和ケア内科 部長 大坂巖 ・ 14:20～16:30 (130分) ケースディスカッション：ACP 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) は患者の価値観に沿った治療やケアを行う上で必須です。 ・ がん患者や高齢の看取りを含めて地域包括ケア病棟で終末期医療を実践する事も多く、死に至る様々な過程におけるACPの実践方法や患者・家族とのコミュニケーションスキルを学び、自院におけるACPの文化を醸成することを目指します。
1/13 (土)	第5講 高齢者の ハイリスク 疾患	石川賀代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地ケアのフレイル、サルコ、ロコモの評価方法と介入方法 平成医療福祉グループ 会長 武久洋三 ・ 13:00～14:10 (70分) 地域包括ケア病棟における慢性心不全の治療と再入院予防 平成医療福祉グループ 診療本部長 井川誠一郎 ・ 14:20～16:30 (130分) ケースディスカッション：Person Flow Management、入院前・時支援、在宅復帰支援、退院時・後支援、再入院予防・短期入院 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢患者におけるMultimorbidityにおいて、心血管/腎/代謝疾患などを含めて、入退院を繰り返し、徐々に廃用症候群へ移行するケースが多くみられ、適切な多職種介入、在宅復帰支援の実践を目指します。
2/10 (土)	第6講 整形外科疾 患・リハビ リテーショ ン	仲井培雄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地域包括ケア病棟における整形外科疾患 平成医療福祉グループ 代表 武久敬洋 ・ 13:00～14:10 (70分) 地ケアの補完代替リハビリテーション 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 理事長 仲井培雄 ・ 14:20～16:30 (130分) ケースディスカッション：チーム医療・多職種連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟における代表的整形外科疾患について学びながら、認知症・フレイルモデルのリハビリテーションを深掘りします。 ・ 地域包括ケア病棟における補完代替リハビリテーションや疾患別・がん患者リハビリテーションの現状を把握して、多様な補完代替リハビリテーションのあり方やリハビリテーションマネジメントの実践等の取り組みを通じて理解を深め、自院での応用を目指します。
3/2 (土)	第7講 緊急入院 への対応	富家隆樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11:00～12:10 (70分) 地域包括ケア病棟で見ていくサブアキュート 医療法人社団富家会 富家病院 理事長 富家隆樹 ・ 13:00～15:10 (130分) ケースディスカッション：緊急搬送基準 ・ 15:20～16:20 意見交換 (60分) ・ 16:20～16:30 閉講式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病棟では、在宅や介護系施設から緊急の直接入院の患者の受入もあり、どのような疾患が対象となるのかを学び、より安全に病棟を活用する方法を学びます。 終了時に、認定証授与式を行い、受講生間での意見交換の場を予定しています。

2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー

授業題目

地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー（第1講～第7講）
～地域包括ケア病棟協会独自のカリキュラム～

キーワード

最先端のmultimorbidity(マルモ)診療医を養成

目的

地域包括ケア病棟協会では、地域包括ケア病棟を届け出る病院を「総合診療や老年医学のマインドを持つ医師と共に急性期後や在宅療養中の“multimorbidity 患者”を受け入れる、在宅でみる地域診療拠点」と位置付けています。

上記のマインドを学び、実践力を身につけるために、アカデミアや第一人者から知見を学び、グループディスカッションを通じて、受講施設とその開設地域において活躍できる認定医を養成します。

到達目標

患者に寄り添う医療や患者・家族のニーズに応じたケアを提供し、多職種協働を実践できる。

multimorbidityを理解し、複数の慢性併存疾患を包括的に診療できる知識と技術を習得する。

認定医として、地域包括ケア病棟を最大限に活用し、「ときどき入院 ほぼ在宅」を通じて地域を活性化できる。

2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー

授業概要 スケジュール

2023年度 地域包括ケア病棟認定医養成アカデミー
カリキュラム参照

受講条件

- ①地域包括ケア病棟協会の会員施設
- ②地域包括ケア病棟を届け出ている
もしくは届け出を検討している非会員施設

受講方法

第1講～第6講はWEB受講。当日の参加が
できない場合は、後日アーカイブ配信を行います。

ただし、その場合は、ケースディスカッションの
参加がありませんので、修了証発行はありません。

第7講は集合研修

(会場：グランパークカンファレンス東京都港区芝浦3-4-1)

受講費

会員： 35,000円 非会員： 70,000円

連絡先

一般社団法人 地域包括ケア病棟協会事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
mail (事務局宛) : maf-jahcc@mynavi.jp

参照 ホーム ページ

<https://chiiki-hp.jp/>